

第6学年 学級活動 学習指導案

日 時 平成24年2月24日（金） 第6教時
児 童 函館市立赤川小学校 6年1組
男子 13名 女子 17名 計30名
指導者 教 諭 児 玉 光 晴

1 題材名 「個人情報の発信に気をつけよう」

2 題材設定の理由

総務省統計局が2010年7月に発表した2009年の全国消費実態調査によると、二人以上の世帯におけるパソコン普及率は75.9%、四世帯のうち三世帯はパソコンを持っていることになる。さらに平均所有台数は1.52台という。多くの世帯に複数台パソコンがある状況といえる。また、それらのパソコンを所持している世帯のインターネットの普及率は92.7%であった。

2011年内閣府「消費動向調査」によると、携帯電話の普及率は92.9%となっている。文部科学省が平成21年に発表した「子どもの携帯電話等の利用に関する調査結果について」において、携帯電話を所持しているのは、小学校6年生で24.7%という回答も出ている。子どもたちにとってパソコンや携帯電話は身近なものであり、メールやインターネットを気軽に利用することができる状況といえる。

しかし、近年児童生徒がインターネットに関するトラブルに巻き込まれる例が後を絶たない。気軽に利用できる反面、危険な側面を持っているということへの知識の欠如が原因と考えられる。

そこで、インターネットや携帯電話への正しい知識を身に付け、子どもたちがトラブルに巻き込まれた時に、どのように行動すればよいのか考えることのできる力を育てたいと考え、学級活動の中で「情報モラル」の指導を進めてきた。できるだけ長期休みに入る前に時間を設け、メールトラブルやインターネットトラブルについての指導を行った。本題材は卒業を間近に控えた6年生に「個人情報」の発信について考える授業を行うこととした。

3 児童の実態

各家庭のパソコン普及率は70%、そのうちインターネットが使える家庭は50%である。携帯電話所持児童は12名（30人中）3人に1人が自分専用の携帯電話を所持している。また、インターネットや携帯電話の使用実態を調査したところ、携帯電話では圧倒的にメールの利用が多く、パソコンでのインターネットではWebメールやネットゲームの利用が多かった。

5年生のころより、道徳や総合的な学習の時間、各種教科の中でパソコンを活用してきた。基本的な操作から始め、インターネットの利用法を調べ学習を通して身に付け、ワープロソフトやプレゼンソフトでまとめをしてきた。さらに「情報モラル」にかかわる指導をパソコン、携帯電話両面から指導を行ってきた。今年度も各教科の中でも積極的にパソコンを使い、その都度メールのやり取りやネットトラブル、個人情報、著作権などについての指導を行ってきた。

4 指導のねらい

- (1) 正しい情報を発信しようとする態度を身に付ける。
- (2) インターネット上のトラブルについて考えて行動しようとする態度を身に付ける。
- (3) 個人情報の発信の仕方について考え、判断しようとする態度を身につける。

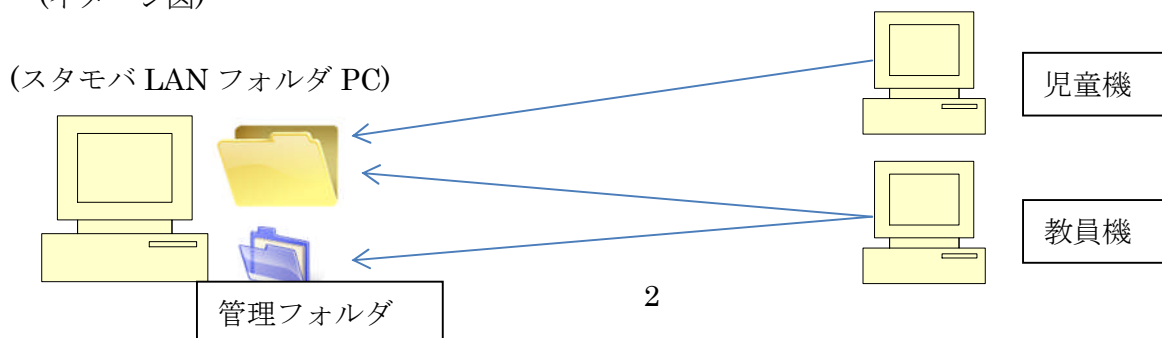
5 指導計画(指導の過程)

時	ねらい	活動内容	評価規準
1 (1 学期)	正しい情報を発信しようとする態度を身に付ける。	○メールの送受信を体験する。 ○事例を元に、誤解されやすい表現があることを知り、気持ちが伝わる表現を考え、交流する。	(関)インターネットによるコミュニケーションについて関心を持ち、積極的に考えようとしている。 (知)適切な表現方法について理解する。
2 (2 学期)	インターネット上のトラブルについて考えて行動しようとする態度を身に付ける。	○疑似サイトにアクセスし、実際のトラブルを体験する。(チェーンメール) ○占いサイトにアクセスし、個人情報がどのように発信されていくか体験する。(個人情報の流失) ○インターネットのトラブルに巻き込まれたとき、どのように行動したらよいかを考え、交流する。 ○個人情報について知る。	(関)トラブルに対してどのように行動したらよいか積極的に考えようとしている。 (知)個人情報とは何かを知る。 (思)発信してよい個人情報とは何かを考えられる。
3 (3 学期)	個人情報の発信の仕方について考え、判断しようとする態度を身につける。	○プロフィールサイト(プロフ)を作ってみる。 ○各自が作ったプロフを交流し、問題点を探る。 ○それぞれのプロフの問題点について交流する。 ○インターネット上での個人情報の取り扱いについて知る。 ○個人情報はどこまで発信してもよいのか、考え交流する。	(関)個人情報の扱い方について、積極的に考えようとしている。 (思)個人情報を発信するときに、発信してよい情報を判断することができる。

《本時に使用する教材について》

携帯電話における情報モラル教材として、岩手県立総合教育センターが開発した「スタモバLAN」を活用した。インストールが不要であり、サーバーも必要ない。共有フォルダを利用してアクセスすることで、児童機も教員機も作動する。

(イメージ図)



6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・正しい情報を発信しようとする態度を身に付ける。
- ・個人情報の発信の仕方について考え、判断しようとする態度を身につける。

(2) 本時の展開

過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点 備考 *留意点 ●評価
導入	○あいさつ ①個人情報についてのふり 返し。 ②学習課題の確認。	○あいさつ ・出席確認 ・個人情報とは何か交流する。 (掲示板に記入) ・学習課題の確認	*電源がきちんと入っ ているか確認し、出席をと る。 *既習事項を思い起こさ せるような声掛け。
展開	個人情報の発信に気をつけよう		
	③プロフ作成 ④プロフ完成後、みんなの プロフを閲覧する。 ⑤プロフの問題点を探る。 ワークシート記入 ⑥インターネット上の個 人情報の扱いについて知 る。 ⑦さきほどのような場面 ではどのように行動すれ ばよかったのか考える。	(場面設定) 卒業を控えた6年生。中学校に行く とクラスがばらばらになる。そこで、 みんなで卒業後も交流できるようにプ ロフをつくろう。 ・スタモバ LAN ・PCにて作業開始 ・スタモバ LAN にて他の人の プロフを閲覧する。 ・気が付いた問題点をパソコン で記入する。 ・ほかの人のプロフ(自分も含め て)問題がなかったかを交流し あう。 <指導事項> ◎インターネット上では不特 定多数の人が見ている。 ◎情報発信には注意が必要。 ・個人情報の発信の仕方を考え る。(考えをパソコンに記入)	*スタモバ LAN が起動 しているか確認。 *みんなで交流するとい う点を強調する。 *ほかの人はどんなこと を記入しているのか、注 意深く見るように声掛け する。 *個人情報の観点から考 えるように声掛けする。 ●(関)個人情報の扱い方 について、積極的に考え ようとしている。 *まとめスライドで説 明。 ●(思)個人情報を発信す るときに、発信してよい 情報を判断することがで きる。
まとめ	⑧それぞれの意見を交流。 ⑨今日のまとめと感想	・ほかの人の意見を知る。 ・今日のまとめと感想をパソコ ンで記入する。	*記入事項を回収。

